

2015年5月15日
みずほ証券株式会社

招商局集團との中国における投資ファンド設立について

みずほ証券株式会社(取締役社長 本山 博史、以下「当社」)は、本日、中国の招商局集團有限公司(董事長 李建紅、以下「招商局集團」)の100%子会社である招商局資本投資有限責任公司(董事長 李建紅、以下「招商局資本」)と共同で設立したCMH General Partner, Ltd. が組成する中国未公開企業向グロース投資を行うCMH Growth Fund, L.P. (以下「当ファンド」)に関し、当ファンドの1stクローズにおいて、20百万米ドルの出資契約書に調印を致しました。

当ファンドは、日本と中国を起点とし、当社がこれまでに有するファンドビジネスに係るノウハウ、〈みずほ〉が有するグローバルネットワーク、そして招商局集團が有する中国における事業ネットワークを用いて、重層的なグローバルサービス提供力を生かしたファンドビジネスを展開していく予定にしています。

当ファンドの投資先企業としては、今後、中国の産業構造が従来の“輸出中心の産業構造”から、“内需中心の産業構造”に転換していくことが予想される中、当該転換に係る成長資金を必要とする中国の未上場企業を対象と致します。また、技術力及びノウハウを有する日本企業との事業提携やM&A等を通じて、投資先企業のバリュー・アップ及びExit推進を図ることを投資戦略の一つとしています。

当社は、このアジア発の招商局資本との共同でのファンド設立を海外ファンド事業展開の一つの核として位置付けており、中国の有力国有企業である招商局集團との連携強化は、今後の日本の経済社会の発展に貢献するものと考えております。

なお、今次1stクローズにおいては、当社に加えて、招商局資本、株式会社国際協力銀行、日本の事業会社等の参加を得ておりますが、今後、ファイナルクローズに向けて、200-250百万米ドルの規模を目指して、国内外の投資家募集を行っていく予定です。

【ご参考】

招商局集團は、中国国務院国有資産監督管理委員会が直接管理する国有企業で、海運事業に始まり、港湾・造船事業、そして中国全土に広がる高速道路運営事業に加え建機製造事業等において、これまで中国の発展を支えた事業の国内外での伸長を図ると共に、近年銀行及び証券の金融事業の比重を高め、2012年に設立 140 周年を迎え、産業高度化やサービス業進展を支援する新たな中核会社とすべく、ファンドビジネスに特化した招商局資本を設立しております。

以 上